

平成 30 年度徳島アイバンク事業報告

1. 啓発普及活動

- 1) 愛の光運動をさらに推進し、登録者の増加に努める。特にライオンズクラブでの啓発活動に協力・応援をお願いする。
 - ① 平成 30 年 10 月 12 日～14 日：第 49 回徳島フォトサロン展において来場者に啓発用資料パンフレット、眼球提供申込ハガキの配布を行った。(土岐理事)
 - ② 平成 30 年 11 月 4 日：藍住ライオンズクラブと藍住町民体育館で開催された藍ラブフェスティバルにおいて啓発用資料パンフレット、眼球提供申込ハガキの配布を行った。(山根理事)
 - ③ 平成 31 年 2 月 19 日：県内移植コーディネーター、徳島大学病院技師長・看護師・徳島日赤病院看護師等に対して「角膜移植について」講演を行った。(宮本理事)
- 2) 優良企業に対して啓発活動を行うとともに、寄付の依頼を行う。

優良企業に昨年度の事業報告・収支報告、啓発活動をするとともに徳島アイバンクへの寄付依頼を行った。
- 3) 平成 30 年 9 月 30 日「目の健康講座」を徳島県眼科医会と共催し、啓発活動を行う予定であったが、台風のために中止となった。

2. 献眼登録・斡旋・角膜移植手術の実績

- ① 平成 30 年度献眼登録者数 8 名 (献眼登録総数 3,646 名)
- ② 平成 30 年度献眼者数 0 名 0 眼
- ③ 平成 30 年度角膜移植数 献眼者 0 眼 (静岡アイバンクより 1 眼)
輸入角膜 10 眼
- ④ 角膜移植総数 献眼者から 164 眼 (他アイバンクからの献眼移植 18 眼)
輸入角膜から 362 眼 (前年度末の 1 眼を含む)
- ⑤ 待機患者数 9 名

3. 学会・研究会への参加

宮本龍郎理事が出席した。「広域活動地区連絡会」では各県の昨年度の献眼情報の報告があった。協議では、献眼の斡旋について、中核アイバンク斡旋から広域斡旋に変更になったことについての意見交換が行われた。臓器移植コーディネーターとの関わりについて各県からの意見交換が行われた。

全国アイバンク連絡協議会では、広域斡旋に変更されたことについて問題点などの議論が行われた。

4. 学術研究の助成

国立大学法人徳島大学へ 500,000 円の眼球疾患研究助成 (寄付金) を行った。

5. 役員会の開催

1) 平成30年度第1回理事会

日時：平成30年6月7日

場所：板野郡藍住町 山根眼科

審議議案

- ① 平成29年度公益財団法人徳島アイバンク事業報告
- ② 平成29年度公益財団法人徳島アイバンク収支決算及び監査報告

報告事項

理事の職務の執行状況について

2) 平成30年度定時評議員会・臨時理事会

日時：平成30年6月24日

場所：ホテルクレメント徳島

審議議案

- ① 平成29年度事業報告及び収支決算の承認について
- ② 新理事及び監事並びに評議員の選任について

報告事項

平成30年度事業計画及び収支予算について

臨時理事会審議議案

理事長の専任について

3) 平成30年度第2回理事会

日時：平成31年3月28日

場所：板野郡藍住町 山根眼科

審議議案

平成31年度公益財団法人徳島アイバンク事業計画及び収支予算について

報告事項

理事の職務の執行状況について

6. 立入検査について

平成31年1月18日午前10時～午後3時30分 山根眼科において徳島県監察局の立入検査が行われました。

検査結果

次の事項について留意の上、今後とも関連法令を遵守し、適正な法人運営に努めてください。

特記事項

- ・貸借対照表の公告について、定款に沿って、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行うこと。
- ・定期提出書類は、期限内に提出すること。
- ・議事録は、全ての理事会において作成すること。